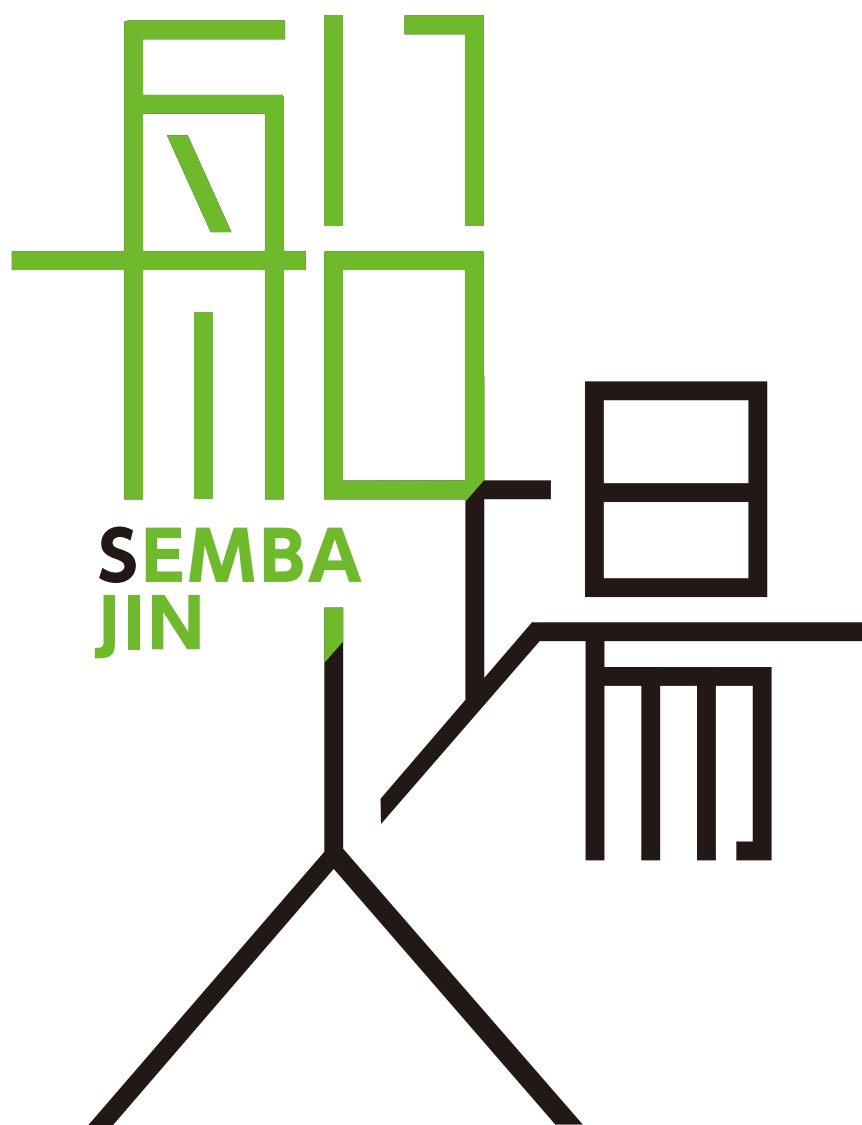


今日からあなたも

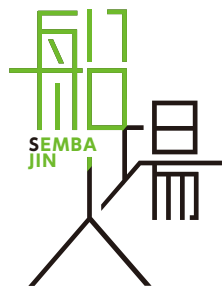


船場ガイドブック
2020

2021年2月発行



船場倶楽部
SEMBA CLUB



船場ガイドブック 2020

2021年2月発行

目次

- ようこそ 船場へ1
- 特集「船場の通と筋」2
 - 船場の通3
 - 船場の筋13
 - 船場MAP15
 - 協賛広告17

（記事に記載している施設の休業日・営業時間などは変更される可能性があります）

ようこそ 船場へ

船場は豊臣秀吉の壮大な都市計画の中で誕生し長い歴史の中で栄枯盛衰を経験しながらも常に大阪の経済や文化の中核を担ってきました。昔ながらの整然とした格子状の街路を保ちつつさまざまな先進的なまちづくりも進んでいます。歴史と伝統が息づく泰然たるまちなみの中で今を生きる人々の活気ある営みにも出逢えます。そんな船場をよりよく知っていただくため私どもは毎年このガイドブックを制作しています。今回はメインテーマを「船場の通と筋」としました。さあ、今日からあなたも船場人。このガイドブックを手にも船場のまちを散策しその魅力と素顔を肌で感じていただければ私どもにとってこれに勝る歓びはありません。

船場倶楽部
集英地域活動協議会

船場とはどんなまち？

船場の位置と特徴

船場は、北は土佐堀川、東は東横堀川、南は旧長堀川（現長堀通）、西は旧西横堀川（現阪神高速道路）に囲まれた南北2.1km、東西1.1kmの約230haの区域をいいます。

港から、大阪城に向かって、船場のまちは東西の「通り」を軸として発展、これに南北の「筋」が交わる格子状のまちがつくられ、今もまち割りが残っています。明治以降、堺筋や御堂筋等の整備により、人の流れは南北の「筋」が中心となりました。通りや筋の沿道には、現在も数多くの近代建築はじめ歴史的な建物が残り、まちの変化を見ることができます。



船場の位置



幕末から明治の大阪・船場（明治5年）

船場400年のあらし

船場は、豊臣秀吉による大阪城築城に合わせ、西側の砂州の埋め立てで生まれたまちです。大坂夏の陣、明治維新、太平洋戦争と、船場は幾度も壊滅的被害を受けますが、その度に新たな人びとを惹きつけて蘇り、かつての伝統と融合して新しい時代の船場の魅力を創りだしてきました。

水運の拠点から商都へ
江戸幕府直轄地後、更に埋め立ては拡大され、船場は水運の拠点となり、全国から人と富と情報を集積、大坂が城下町から経済都市に変容します。船場では金融・業・繊維・輸入雑貨など多くの問屋が繁栄します。

商都大坂の中心から町人文化の発信
この間、近松門左衛門に代表される文芸・芸能はじめ、多くの町人学者を輩出した懐徳堂など、なにわ商人の誇りある町人文化が育まれ、継承されました。

近代化による大大阪へ

明治維新により、大阪の経済的基盤は壊滅的打撃を受けますが、その後急速に工業都市化し発展。大正期には「大大阪」と呼ばれる時代を迎え、モダンで最新の都市文化スタイルを創造しています。

新しい都心の魅力を求めて

戦後の復興を支えてきた船場も、1970年代からの繊維不況や産業構造の変化で、かつての賑わいを失っていきました。戦前には約6万人あった人口も、一時約4千人まで減りましたが、2015年以降、約1万人を超えるまでに回復してきました。昼間は約20万人が集中する業務都心に変わりありませんが、商業・業務機能の中心がキタとミナミへ集中するなかで、新しい都心船場の魅力が生まれつつあります。

船場の通

（東西方向の道）

船場の「通り」の数は23ある。

古地図では通りの数は24ある。1970年（昭和45）大阪万博にあわせ唐物町通と北久太郎町通の間に中央大通ができ、通りの数は23となった。通りの名称は、地形によるもの、川や橋にちなむもの、開発者の名前やその出身地にちなむものなど、さまざまである。江戸時代からの名称を受け継いでいるものが多い。

また、通りの名称の多くは、町名（住居表示）でもある。船場の人びとは、長年慣れ親しんできた町名に対して、限らない愛着をもって現代に引き継いできている。

船場の町名を覚えるためのわらべ歌

現在、まちで聞くことはないが、船場の町名を覚える次のようなわらべ歌があった。

「はまかじき、いまはうきよと こうふしど、
ひらのあわじ、かわらびんご、あづちほんまち、
こめやからもの、くたくたに にきゅうほう、
ばくろうじゅんけい、あんどうしおまち、はま」

「はま」は北浜、「かじき」は榎木、船の舵の木を売る店が並んでいた内北浜、「いまはうきよ」は今橋、浮世小路、「こうふしど」は高麗橋・伏見町・道修町、「こめや」は米屋町で今の南本町、「からもの」は唐物町、「くたくた」は南北久太郎町、「にきゅうほう」は南北久宝寺町、「はま」は末吉橋の浜通りです。

参考文献：わが町船場（開平小学校）

特集

船場の通と筋

古い地図を見ると、船場のまちが基盤目状に作られていることがよくわかる。船場では、町を東西に抜ける道を「通り」南北に抜ける道を「筋」と呼んでいた。「通り」は広く、「筋」は狭くなっている。それにはいくつかの理由がある。一つは、大阪の地形や気候によるもので、西風の多い大阪では大阪湾から吹く風を多く受け入れ、涼しく過ごせるように東西の通りを広くしたということ。もう一つは、城下町であった船場は、真東にある大阪城に通じるように通りをつくったということ。さらに船で運んできた荷物は、東西の横堀川を船着場として利用してきたことから、横堀川に通じる通りは広く本通りとなり、これに面した大商家が店を構え、筋は脇道になった。

増脩改正摂州大阪地図 1806年（文化3）

図中の●は大坂三郷の北組、
▶は南組、概ね本町通で分かれている

- ①のちに拡張された御堂筋。北の方の名称は淀屋橋筋。
- ②肥後橋は、かつて船場に架かっていた。
- ③当時は難波橋筋に橋があったので難波橋の名称が残る。
- ④現在中之島は天神橋の東まで延長された。
- ⑤蟹島（といわれた）築地に架けた橋、葺屋橋。
- ⑥東横堀の現在は高速道路が屋根に。
- ⑦今も残るまがりに「曲り測地蔵尊」がある。
- ⑧西横堀は埋め立てられ高速道路に。東横堀川より西横堀川に橋が多い。
- ⑨中央大通で消えた町、唐物町。
- ⑩長堀は埋め立てられ地下街・地下鉄に。
- ⑪四ツの橋があった、名称の由来がよく分かる。

土佐堀通

とさほりどおり

名称由来 大川の分流、土佐堀川の左岸に沿って位置することから

中之島で分かれた大川の分流、土佐堀川が流れ、難波橋(堺筋)、梅槿木橋(三休橋筋)、淀屋橋(御堂筋)などの橋が架かる。北浜4丁目にある三井住友銀行大阪本店は、1879年(明治12)当地に開設され、東京での開設より8年早かった。ほかに大阪証券取引所があるなど、関西を代表する金融・証券のまち。地下には京阪電車が走り、御堂筋には淀屋橋駅、堺筋には北浜駅がある。



三井住友銀行大阪本店ビル 北浜4丁目6-5 1
1926年(大正15)、住友財閥の経営統括本部ビルとして建築。上質な意匠とこたわりぬいた堅牢性を兼ね備えた建物が目を引く。



大阪証券取引所ビル 北浜1丁目8-16 2
1935年(昭和10)築、2004年(平成16)に全面増改築。橋円筒形の旧市場館部と外壁・内壁の一部が保存された。五代友厚の像が立つ。

内北浜通

うちきたはまどおり

名称由来 大川沿いの北の浜で「北浜」。その内陸部にあたる道

現在の北浜1～4丁目は、江戸時代は過書町、梶木町、大塚屋町、さかいな町などと呼ばれていた。水運による交流が盛んになり、大川沿いの北の浜に家屋が建ち並び、北浜通(現・土佐堀通)と内北浜通という二つの通りができた。さらに長崎貿易や各藩の諸物産の集散地として、金相場会所のほか、各種問屋、両替屋などが立地し、経済・金融取引のまちへと発展した。



適塾 北浜3丁目3-8 4
1792年(寛政4)ごろの建築、1838年(天保9)に緒方洪庵が開いた蘭学塾の私塾。現在は大阪大学が所有する。一般開放されている重要文化財。



適塾西側の公開空地 5 緒方洪庵の像がある。

今橋通

いまばしどおり

名称由来 今橋が架かる東西にのびる道だから

今橋という橋の名前は、架設がほかの橋よりも遅く「今あらたにかけた橋」という意味という。鴻池などの両替商が軒を連ね、井池筋の角には銅座があった、いわば金融センターのような通り。現在もいくつかの証券会社が本店を置く。また、銅座跡にある愛珠幼稚園をはじめ、愛日小学校や集英小学校など、明治時代に数々の学び舎が誕生した。



愛珠幼稚園 今橋3丁目1-11 7
1880年(明治13)に町民たちにより開園。現園舎は1901年(明治34)築。2007年(平成19)に国の重要文化財に指定。



大阪倶楽部 今橋4丁目4-11 8
1914年(大正3)に会員制の社交倶楽部の会館が誕生。一度焼失し1924年(大正13)に現在の建築に。有形登録文化財に指定。

浮世小路

うきよしょうじ

名称由来 浮世の有り様を縮小したような多様性のある小路だった

「太閤下水」の上にできた狭い通り。江戸時代中期は、楊弓場、風呂屋、餅屋、質屋、三弦法師宅、謡曲師匠宅、船場の旦那や番頭の妾宅などが建ち並び、浮世の風情からそう称された。『好色一代男』『日本新永代蔵』にも登場する。やがて富豪の町人が住み土蔵を建て連ね、趣きは消えた。現在は今橋通と高麗橋通の裏通りのような静かな風情あるたたずまい。



圓井雅選堂 高麗橋4丁目4-21 10
1932年(昭和7)創業の古美術商。船場の町家は明治末期、尾道出身の実業家・山口玄洞が別宅として建てた。



華道末生流会館 11
高麗橋2丁目5-15
「末生流(総家)」の本部。華道のほか、茶道と煎茶の教室も行われている。

高麗橋通

こうらいばしどおり

名称由来 東横堀川に架かる高麗橋から続く通りだから

橋の名前は、朝鮮国使を迎えるために建てたからとか、難波宮高麗館が橋の東にあったからとされるが確証はない。橋は公儀橋で、明治初頭に大阪最初の鉄橋となった。江戸時代から大阪を代表する商舗が立ち並んだ通り。近代建築として、堺筋には昭和初めに竣工した「高麗橋野村ビル」があり、三休橋筋には明治の終わりの建物「旧大阪教育生命保険ビル」がある。



高麗橋野村ビル 高麗橋2丁目1-2 12
1927年(昭和2)建築。各階の帯を巻いたような壁、庇も角がアールになっている。



旧大阪教育生命保険ビル 高麗橋2丁目6-4 13
辰野金吾・片岡安の設計で1912年(明治45)に建築。赤煉瓦と白い石の風格ある外観。

土佐堀通のお店紹介



OUI ウイ 1
北浜2丁目1-21
銀行所有の絵画等の展示や周辺の名所旧跡を案内するコーナーもあり、カフェも併設。
17:00～22:00
土日祝 17:00～21:00



El Poniente 2
北浜2丁目1-21
北浜テラスの一角。どの料理も高評価で、特にバリエアはおすすめ。
月～土11:30～14:30(LO.14:00)
17:30～22:00(LO.21:00)
日休



Moto Caffee 3
北浜2丁目1-1
川床のある開放感あふれる空間。コーヒーの味に定評のあるカフェ。
12:00～19:00(LO.18:30)
テイクアウト～19:00
不定休



帝国座跡 北浜4丁目4-7 6
川上音二郎が新派の拠点として1910年(明治43)に建てた、大阪初の純洋式劇場があった。建物は昭和40年ごろまであった。



SCHOOL BUS 4
北浜1丁目5-8
アメリカ・ポトランドのコーヒースタンドをイメージした空間。本格的なラテが楽しめる。
11:00～17:00
土日10:00～17:00
無休(GW/夏・冬季休)



スペクタークルキタハマ 5
北浜1丁目2-2
コーヒーとワインが楽しめるカフェ&バー。ランチタイムは女性客で賑わう。東横堀の水辺をみながらくつるぐ姿も。カヌレが人気。
11:00～24:00
不定休

今橋通のお店紹介



アンティカ・オステリア・ダル・ボンビエーレ 6
今橋4丁目5-19
1925年(大正14)築の元消防署の建物が、イタリア料理店に。
11:30～15:00(LO.14:00)
17:30～21:00 日休



中華ダイニングバル ぱんだ 7
今橋1丁目4-8
アットホームな店内で、ボリューム満点、名店出身のシェフによる料理が人気。
11:30～15:00(LO.14:30)
17:00～23:00(LO.22:30)
日休



コホロ 淀屋橋 8
今橋3丁目2-2
作家の陶器など、雑貨ショップを備えたカフェ&ギャラリー。
11:00-19:00
火休



銅座跡 9
今橋3丁目1-11
1766年(明和3)、現在の愛珠幼稚園がある場所に、銅の精錬、売買を管轄する銅座が置かれた。銅は重要な輸出品で、大阪は銅精錬業の中心だった。

浮世小路のお店紹介



一山 9
高麗橋3丁目1-1
創業100年の老舗の味を提供し、長く地元に愛され続けている蕎麦店。
11:00～17:20(LO)
土日祝休



染川メガネ店 10
今橋1丁目7-12
この地で営業を始めて54年、取り扱っている種類も多い眼鏡専門店。
10:00～18:00
土日祝休

「太閤下水」

豊臣秀吉の時代、船場は土地が低湿であったため、堀川(人工の運河)を開削し、そこから出た土砂を利用して土地を嵩上げて町屋の敷地とするまちづくりが行われた。大阪城に向かう東西の通りに面して間口をもつ建物の裏側、すなわち建物の背中あわせになっているところに下水溝がつくられた。このようなことから「背割下水(太閤下水)」と呼ばれる。集められた下水は、ほとんど東西の横堀川に排水されていた。「背割下水」は、通常幅1尺(30.3cm)から4尺(1.2m)、大きなものは1間(1.8m)から2間(3.6m)に及ぶものがあった。浮世小路には2本の下水が流れ、間に通路があったものと思われる。



高麗橋は街道の終点起点

東横堀川に架かる高麗橋は、東側の武家まちと西側の商人まちを結ぶ橋でもあり、橋の西詰には幕府の訓令が掲げられた高札場があった。この橋は、東海道五十三次と京街道四次を合わせたいわゆる「東海道五十七次」の終点で、江戸の日本橋と対をなしていた。ここは中国街道、紀州街道の起点でもあり、里程元標(各地への距離を測る起点)があった。



「里程元標跡」の碑 15

伏見町通

ふしみまちどおり

名称由来 大坂に移住してきた京都伏見の町人が開発したまち

近代建築が点在し、古民家を活用した店舗や新しいビルも調和して建つ気品ある通り。秀吉の大坂城築城の際、玉造界隈に多くの伏見町人が移住し、大坂の陣の後、さらに招致された伏見町人たちがこの地に住むようになった。初めは中橋筋から魚の棚筋までの間で「伏見呉服町」と呼ばれ、後に三休橋筋から心斎橋筋までは伏見町、以西、魚の棚筋までは呉服町と呼ばれていた。



青山ビル 伏見町2丁目2-6 16
1921年(大正10)築。登録有形文化財。ツタとステンドグラスが魅力。



伏見ビル 伏見町2丁目2-3 17
1923年(大正12)築。登録有形文化財。船場倶楽部事務局も入居。



芝川ビル 伏見町3丁目3-3 18
1927年(昭和2)築。登録有形文化財。お洒落な店舗が多数入居。

道修町通

どうしょうまちどおり

名称由来 昔ここは谷の地形で「道修谷」と呼ばれたとの説が有力

多くの製薬会社が軒を連ねる「薬のまち」。寛永年間、将軍秀忠の命で、堺の小西吉右衛門が薬屋を開いたのがきっかけと伝わる。薬祖神を祀る少彦名神社は地域に親しまれている。文運盛んなまちでもあり、小西来山など多くの俳人や歌舞伎作者の並木五瓶なども輩出。商家の盲目の娘に丁稚の佐助が献身的に仕えた物語、谷崎潤一郎の「春琴抄」もこのまちが舞台である。



旧小西儀助商店 道修町1丁目6-9 20
1903年(明治36)築。国の重要文化財。2代目儀助が木材から意匠までこだわり抜き3年かけて完成。



少彦名神社 道修町2丁目1-8 21
薬の神様と親しまれ、11月22・23日の例祭「神農祭」では笹に張子の虎をつけた疫病除けのお守りが授けられる。

平野町通

ひらのまちどおり

名称由来 京都平野神社ゆかりの百済氏出身の早良親王を祀る御霊神社22に近いため

かつて、心斎橋や天神橋などともに市内五大商店街の一つに数えられた通り。特に明治中期から大正にかけては、御霊筋には呉服店が建ち並び、文楽座も賑わった。その後、道路拡幅に伴い歩道ができ、街路樹と街灯を備えた舗装道路には贅沢な喫茶店やお洒落な店が軒を連ね、「平ぶら」という言葉ができるほど栄えた。現在も多彩なジャンルの飲食店が多く、店選びには困らない。



1935年(昭和10)ごろの平野町商店街



生駒ビルディング 23
平野町2丁目2-12
1930年(昭和5)築。登録有形文化財。アールデコ様式で、時計塔、鷲の彫刻、ステンドグラスなどが目を引く。



大阪瓦斯ビルディング 24
平野町4丁目1-2
1933年(昭和8)築(1966年に北館増築)。登録有形文化財。ガスビル食堂などがあり地域に親しまれてきた。玄関は御堂筋ではなく平野町・道修町の通り側にある。

淡路町通

あわじまちどおり

名称由来 淡路島からの移住者が多かったことが由来とされる

淡路町は1837年(天保8)の大塩平八郎の乱の主戦場となり、大塩一味が町奉行軍と激突して淡路町堺筋に追い詰められ、壊滅した。近松門左衛門の傑作の一つ『冥途の飛脚』の主人公、亀屋忠兵衛の飛脚屋もここにあった。また、但徠学派に属し古文辞学を講じた泊園書院の藤澤東咳が、最初に大坂で塾を開いたのも淡路町だった。歴史上のさまざまなドラマを見てきた通りといえる。



清水猛商店 27
淡路町3丁目5-6
1924年(大正13)築。木造3階建て、船場の商家が町家から西洋建築へ移行する過渡期の貴重な事例。

船場ビルディング 28
淡路町2丁目5-8
1925年(大正14)築。登録有形文化財。内部中央には中庭があり、吹き抜けの周囲は回廊になっている。

瓦町通

かわらまちどおり

名称由来 瓦職人をはじめ建築に関わる職種の人が多くいた

瓦町には換職人、障子職人が多く、また木綿問屋や絹織物の暖簾をかけた店が軒を連ねていたことから、近年まで「糸偏のまち」と呼ばれた。また1838年(天保9)に緒方洪庵が医院と蘭学塾適塾をこの地に開業し、後に拡張のため北浜へ移転した。現在は繊維関係の会社は減少したが、薬店、クリーニング店、スーツ店、弁当屋など生活に密着した店舗が目立ち、居住にも便利なまちだ。



旧岸本瓦町邸 31
瓦町1丁目2-1
1931年(昭和6)築。登録有形文化財。鉄鋼業で大阪市民病院の建設や日仏美術の交流に貢献した岸本吉左衛門の邸宅。外壁は龍山石。



都心居住の先駆けの地
2003年(平成15)、瓦町1丁目の大手商社跡地に当時西日本一の高さの超高層マンションが建ち大阪都心部の超高層マンションブームの先駆けとなった。その後も船場にはタワーマンションが相次いでできている。

伏見町通のお店紹介



三菱UFJ銀行大阪ビル
ギャラリーラウンジ 12
伏見町3丁目5-6
銀行所有の絵画等の展示や周辺の名所旧跡を案内するコーナーもあり、カフェも併設。
07:00~22:00
土日祝 07:00~21:00



CuteGlass Shop and Gallery 13
伏見町2丁目4-4
大正時代の古民家を修景。日本精工硝子で運営する美しいガラス瓶のショップアンドギャラリー。
10:00~18:00
土日祝休



土山人 北浜店 14
伏見町2丁目4-10
石臼挽き手打蕎麦店。築百年超の古民家で、料理と多彩な日本酒を。
11:30~15:00(LO.14:30)
17:30~23:00(LO.22:00)
土日祝 17:30~22:00(LO.21:00)
月休

道修町通のお店紹介



居酒屋&カフェ 門 15
道修町3丁目3-12
創業60年超。昼のチキン南蛮、夜の石焼カレーは絶品。船場の風景とこばを描いた一筆箋も大人気。
11:00~14:00 17:00~23:00
土曜は貸切予約のみ
日祝休



道修町ミュージアムストリート
https://www.mtpc-shiryokan.jp/map/ 日本一の医薬品産業発祥の地にふさわしく、通り沿い約300m・徒歩5分圏内に、製薬会社等が運営する5つの展示施設がある。いずれも見学無料だが開館日時はウェブサイト等で要確認。
くすりの道修町資料館(道修町2丁目1-8)/杏雨書屋(同2丁目3-6)/大日本住友製薬展示Gallery(同2丁目6-8) 田辺三菱製薬史料館(同3丁目2-10)/塩野義製薬本社(同3丁目1-8)

平野町通のお店紹介



湯木美術館 16
平野町3丁目3-9
日本料亭「吉兆」創業者・湯木貞一が収集した古筆や茶道具等をを中心に収蔵・展示している。
10:00~16:30(休館16:00まで)
月および展示替期間中休休(月曜の祝日は開館)



ブテカ・ラ・ランテルナ 17
平野町2丁目6-5
陽気なイタリア人経営の本格イタリアンレストラン。料理はリーズナブルでおいしい。
11:30~14:30
17:00~23:30(LO.22:30) 日曜休



ピフテキのスエヒロ 18
平野町3丁目2-5
和牛ロースやヒレ肉を目の前の石板で好みに加減に焼きながら、自家製たれで舌鼓。
11:00~14:30
17:00~22:00 土~1:00
日祝休



北浜ダイナー 19
平野町2丁目1-9
立ち飲み居酒屋・バー。料理も酒も数多く取り揃え、安くおいしいと評判。
16:00~24:00
日祝・年末年始・お盆は休



平野町には
個店が並ぶ路地も2カ所ある。

淡路町通のお店紹介



Faa Thai (ファーツァイ) 20
淡路町2丁目1-10
タイ国政府認定レストラン。多彩なハーブを使った本格タイ料理が気軽に味わえる。
11:00~15:00
17:00~23:00 日曜休



パンデユース 21
淡路町4丁目3-1
すべて国産の小麦粉・全粒粉・ライ麦粉、そして旬の野菜を使用したパンと料理が人気。
8:00~19:00
土祝 8:00~18:00 日曜休

歴史を語る石碑・銘板



真新しいビルの前に設置された「勝海舟寓居・海軍塾(専稱寺)跡」の銘板29。勝海舟が大坂の住まいとした専稱寺は海援隊の原点となった場所だ。そこから少し北へそれると、吉野寿司の店先に『冥途の飛脚』の記念碑30が建つ。界隈には御霊神社内の文楽座跡碑22もあり、この地の歴史秘話を物語る。

瓦町通のお店紹介



ゴルフショップ Aifie 22
瓦町2丁目2-7
自転車部品世界最大手のシマノが運営。こだわりの品揃えで、フィッターが最適なクラブを提案。
11:00~19:30
土11:00~19:00 日祝休



escapé LODGE and ESPRESSO 23
エスカベ
瓦町1丁目1-6
昭和中期の木造倉庫をリノベーション。お酒と料理はもちろん、こだわりのエスプレッソもおすすめ。
15:00~03:00
日15:00~24:00 木祝休



Velo屋 24
瓦町3丁目3-5
品揃えは幅広く、知識と経験が豊富なスタッフが対応。まちの自転車コンシェルジュ。
09:00~18:00
日祝休 土曜の祝日は営業10:00~18:00



路熊明文堂 25
瓦町2丁目2-7
1907年(明治40)創業。信用と実績のある印章屋さん。
09:00~18:00
土日祝休

備後町通

ひんこまちどおり

名称由来 備後国の商人が多く住まいしていたからとされる

備後国は現在の広島県東部。江戸時代は木綿問屋が多く、明治に入り、呉服、洋反物、木綿や麻織物の商いが行われ、銀行も林立したという。明治初頭まで北御堂周辺には、津村南之丁、御堂前町、北渡邊町、樹屋町などの町名があった。現在、備後町2丁目(堺筋)には超高層のりそな銀行の本店があり、三休橋筋には船場のランドマーク綿業会館がある。



綿業会館 備後町2丁目5-8 32

船場を代表する近代建築で、国の重要文化財、近代化産業遺産。毎月第4土曜には有料の見学会が開催されている。



りそな銀行本店 備後町2丁目2-1 33

1991年(平成3)に竣工。大阪施設緑化賞(みどりの景観賞)優秀賞を受賞。四季の花が咲く。

備後町通のお店紹介



フレスコミニ御堂筋本店 26

備後町3丁目6-14
オフィス街にフィットした品揃え。店で作るお弁当が充実。イトインも。7:30~22:00
祝日9:00~20:00日休



とん正 27

備後町1丁目6-6
肉汁あふれるポリューミーなとんかつ。定食のごはんも味噌汁もおいしい。テイクアウトもOK。11:00~22:00
土夜日祝休



小倉山荘 28

備後町3丁目2-6
小倉百人一首にちなんだ京あられとおせんべい。季節の包装紙も美しく、手土産やご贈答に最適。10:00~18:00
日祝休

安土町通

あづちまちどおり

名称由来 近江の地名「安土」説か、射場の「塚(あづち)」説か

近江商人の店が集積し、出身地の安土にちなむという説と、天正年間(1573~92年)、安土町3丁目に射術訓練の射場があり、その塚(あづち)にちなむという説がある。塚は的の後ろに築いた土の山。幕末から1948年(昭和23)まで、古典籍を専門に扱う古書店「鹿田松雲堂」があった。田村駒治郎商店、現在の蝶理につながる大西商店、伊藤萬など木綿問屋も多かった。



ヴィアーレ大阪 安土町3丁目1-3 34

旧船場小学校の跡地。2001年(平成13)にレストラン・宴会・ホールを備えたシティホテルが開業。地下駐車場は527台を収容。



阪神高速本町出口 35

安土町通の東端は阪神高速1号環状線の「本町出口」。通りは西向き一方通行で車が多い。

安土町通のお店紹介



AB-kitchen 29

安土町1丁目4-10
天然エビフライを中心にした洋食の定食が豊富。タルタルソースがおいしい。11:00 ~ 20:00 日火休



ウエムラ楽器 30

安土町1丁目5-4
創業140年の箏・三絃の専門店。三味線は地唄が専門。胡弓ほか常時、和楽器全般を取り揃える。日休・月不定休



オーバースーズ 31

安土町1丁目7-20
ジャズピアニスト寺井尚之が夫妻で経営するジャズクラブ。第2土曜はジャズ講座(写真)。ライブは火水金土

本町通

ほんまちどおり

名称由来 公儀橋だった本町橋の架かる町筋だから

本町は、1657年(明暦3)の地図にもある古い名前。江戸時代、大坂三郷(北組、南組、天満組)の三つの行政区画の総称)の真ん中を東西に貫くメインストリートだった。呉服商が集まり、繊維衣料の企業が集積していった。現在も、大手衣料メーカーの大阪支店があり、紡績会社や大手商社の所有だった土地やビルが、信用金庫本店や外資系生命保険会社となっている。



大阪産業創造館 本町1丁目4-5 36

愛称は「産創館」。大阪市経済戦略局による中小・ベンチャー企業を支援する拠点。



大阪商工信用金庫 本町2丁目2-8 37

元の東洋紡本町ビルの屋上にあった「日本のガウディ」と呼ばれた今井兼次郎の作品を再生保存した。

本町通のお店紹介



紀伊国屋書店 Seria紀伊国屋本町店 32

安土町2丁目3-13大阪国際ビルディング
高層ビルの1階。ビジネス街の書店として定着。隣にはおしゃれな100円ショップがある。10:00~20:00
土日も営業



富士フィルムフォトサロン 大阪 33

本町2丁目5-7
旧大阪丸紅ビル。現メットライフ本町スクエア1階にある富士フィルムの写真ギャラリー。10:00~19:00 最終日~14:00



香老舗 松栄堂大阪本町店 34

本町3丁目6-4
ガーデンシティ 1F
名刺入れに差し入れておきたい薄型の匂い香「ふみか 京小袖」イチョウ柄とひょうたん柄は本町店限定。10:00 ~ 19:00 不定休



相愛中学校・高校 38

本町4丁目1-23
1888年(明治21)、西本願寺津別院(北御堂)に相愛女学校として設立。船場という大阪が誇るビジネスの中心地で一世紀以上にわたり、強く明るく自立した女性の育成の一翼を担う。

南本町通

みなみほんまちどおり

名称由来 本町通の一本南側に位置するから

本町通と同様、呉服商が集積した町らしく、現在も大手の衣料卸商社のほか、衣料関係の企業が本社を置く。御堂筋沿いにはヨドコウビルがあり、堺筋には旧明治屋ビルがある。東の端は東横堀川の「本町まがり」と呼ばれる場所。近くに「曲り測地蔵尊」39がある。また、幕末から明治初期に活躍した、大坂出身の数学者の福田理軒は、南本町に私塾を開いていたという。



旧明治屋南本町ビル 南本町2丁目2-2 40

1924年(大正13)竣工。現在は風蘭ビル。1階は輸入食品の明治屋に代わって2006年(平成18)からローンゾ



江綿 南本町3丁目2-23 41

1923年(大正12)創業の衣料卸商社。三休橋筋~井池筋はさながら江綿通りの様相。

南本町通のお店紹介



グンゼ館ラッキー 35

南本町3丁目4-9
グンゼ・アツギの製品を中心としたインナーの総合卸。気軽に立ち寄れる。月8:30~18:30
火8:30~18:00
水~土9:00~17:30日休



アカチャンホンポ 大阪本町店 36

南本町3丁目3-21
全国に117店舗を展開するマタニティ・ベビー・キッズ用品の専門店(※2月時点)。1932年(昭和7)に船場で創業。本社もこちら。10:00~19:00



エーワン靴店 37

南本町3丁目3-23
「インベリアル船場」の1階。赤いブーツの看板が目印。有名ブランドの靴が20%オフで買える。10:00~20:00
土~18:00 日祝休

大人のバレエレッスンも 藤原バレエアカデミー 40

旧明治屋ビル4階にあるバレエ教室。子どもだけでなく、一般社会人がバレエを学べる環境を目指してきた。



主任教師 鏡見真樹さん

大人になってからでも、バレエレッスンの経験がなくても本格的なバレエ技術を学ぶことができます。Tel.06-6271-0165

中央大通

ちゅうおうおおどおり

名称由来 大阪市のほぼ中央を貫く道だから

旧唐物町の南と北久太郎町の北を合わせ、1970年(昭和45)大阪万博にあわせてできた大通り。町名は船場中央、「船場センタービル」は船場中央にある唯一の建物。道路の中央にビル10棟が並び建ち、屋上を高速道路が走り、両側には道路、地下には地下鉄が走るという世界的にもめずらしい建造物。輸入品店街、繊維問屋街、専門店街、飲食店街、駐車場を備える。



船場センタービル 42

船場中央1~4丁目



全長約930mの巨大なビルは、地下鉄3路線と直結した繊維とファッションとグルメの街。2020年(令和2)に50周年を迎え、新しい愛称は「せんびる」に。総勢24名のアーティストによって、3号館と4号館を結ぶ地下通路に壁画が製作された。そのほか、記念の短編アニメ「忘れてたフリをして」(漫画家・町田洋作)が、原作「船場センタービルの漫画」ともども話題に。

中央大通のお店紹介



イケマン セン店 38

南本町2丁目2-5 池萬堺筋ビル
文具・事務用品の店。1~3階がショッ。製品の手書きの説明がイチイチわかりやすい。事務用品の実店舗の楽しさが味わえる。創始は、初代池田萬兵衛が船場の堂島新地3丁目に米方南替商を創業した、江戸時代中期1736年(元文元)に遡るという。10:00~18:10
日祝休

中央大通の北側は牛井が選べる

井池筋の角には「フレッシュネスバーガー 御堂筋本町」があり、大通に沿って東に進むと、牛井の「松屋 大阪本町店」、「すき家 船場中央店」、「吉野家 船場中央店」がある。

ほかにも「餃子の王将 せんば南本町店」や「サイゼリヤ 堺筋本町店」もあり、忙しい人のお昼の味方。ちなみに「なか卯 大阪本町店」は大通の南側にある。



久太郎町通

きゅうたろうまちどおり

名称由来「百済」を「久太郎」と書いた説と堀久太郎の邸跡の二説

堀久太郎は秀吉の家来だが屋敷跡は不詳。江戸時代、ここは塗師職・漆器商、唐小物問屋が集まるまちだった。1896年（明治29）、綿糸・綿花・木綿を取り扱う三品取引所が設立され、日本の近代工業化とともに、戦後の経済復興を支えた紡績業、繊維商社が集積した。当時五綿八社といわれた関西の繊維商社の一つ、八木商店（現ヤギ）は現在も久太郎町に立地している。



井池繊維会館 久太郎町3丁目1-16 43



ヤギの鯉池 久太郎町2丁目2-8 44

ヤギは戦前から綿く繊維商社の老舗。今も久太郎町通に面してビルの正面玄関があり、東側には珍しい鯉池。かつてはこの鯉を担って大川からサギが飛んできたという。

北久宝寺町通

きたきゅうほうじまちどおり

名称由来「久宝寺」があった説と、河内の久宝寺村の人が住んだ説

河内の久宝寺村の人々が、道頓堀を掘るとき住んだという。江戸時代には、唐弓・唐槌の商店や、合羽屋、塗物問屋、唐小間物問屋、つづら屋が集まっていた。また、現在の井池筋と御堂筋の間は伝馬町（または馬屋町）といい、伝馬（幕府や大名の公用の荷物を運ぶ馬）の馬持ちが住んでいた。北久宝寺町3丁目には、船場地域内の数少ない公園の一つ、久宝公園がある。



久宝公園 北久宝寺町3丁目 46

1922年（大正13）築、元愛国貯蓄銀行の建物。2016年（平成28）のリノベーションで魅力的なビルに生まれ変わった。



浪華地域活動協議会集会所 北久宝寺町1丁目6 47

浪華小学校跡地。小学校閉校後、新船場高校、東商業高校としても利用されてきた、地域の思い入れのある場所の一角に、2021年（令和3）3月、地域の集会所が完成予定。

南久宝寺町通

みなみきゅうほうじまちどおり

名称由来町名の由来は北久宝寺町と同じ

北久宝寺町と同じく、江戸時代には、唐弓・唐槌の商店や、合羽屋、塗物問屋のほか、とくに小間物問屋が集まっていた。小間物とは、櫛・かんざしなどの髪飾りや白粉・紅などの化粧品をはじめ、塗りの器や箱、刃物、眼鏡、袋物、煙草入れ、根付など、こまごまとした日用品や装飾品をいい、今も問屋街ではカバン・帽子・手芸用品などを扱う問屋が商売を続けている。



南久宝寺町通 48

アーケードの撤去が進み、開放的になった通り。

博労町通

はくろうまちどおり

名称由来馬や牛の仲買商人を指す「博労」に由来

井池筋から心斎橋筋あたりは江戸時代、馬責町と呼ばれ、北久宝寺町の伝馬町と同じく、馬による運送に関係する人が多く住んだ。4丁目の難波神社境内には博労稲荷神社があり、商売繁盛の神様として、船場の商人から篤い信仰を受ける。同じく境内には1811年（文化8）～1871年（明治4）まで人形浄瑠璃の小屋（文楽座の前身）があり、大阪随一の繁華の地でもあった。



難波神社

博労稲荷神社 49

博労町4丁目1-3

10月の船場まつりでは、博労稲荷神社のお神輿が船場を練り歩く。

船場が生んだヒーロー！ 真田十勇士

寄稿：玉田玉秀斎

明治・大正時代、船場には出版社が何十軒もあり、その一つが立川文明堂（博労町4丁目13番地）でした。そこを訪ねたのが先代・玉田玉秀斎。当時は講談速記本の流行が去って、新刊を出版してもらうのが難しい時代。しかし玉秀斎はどうしてもお金を稼ぐ必要がありました。今治で出会ったお敬とその子供たちが大阪にやってきて同居することになったのです。そんな中、やっと出版できたのが立川文庫シリーズでした。タバコ箱より一回り大きく、丁稚のたもとやスポンのポケットに入るサイズ。そのシリーズの中で大ヒットしたのが猿飛佐助、霧隠才蔵などの真田十勇士。なんと200万部も売れたとか。読者には少年時代の川端康成や湯川秀樹がいました。現在でも船場発の英雄たちは映画、アニメ、ゲーム等で大活躍中です。



立川文明堂跡地 50

心斎橋筋に面して店を構えていた。



立川文庫復刻版 当時の立川文庫は色とりどりの背表紙で華やかだった。

久太郎町通のお店紹介



キッチンソルト&ベッパール 39

久太郎町2丁目5-18 ビル1F

ハンバーグや特製デミグラスソースで食べるボークカツのランチが人気。気軽に通える洋食店。
11:30～14:30
18:00～20:00(L.O.)



中国菜 梅花 40

久太郎町2丁目3-8 ハイム船場1F

ホテルや「名家中華」で経験を積んだ店主による本格中華を手頃な価格で楽しめる。麻婆豆腐がおすすめ。
11:30～14:30(14:00 L.O.)
17:00～22:30(22:00 L.O.)
日祝休

「久太郎町」に残る「渡辺町」の面影



「渡辺」とは「渡しの辺り」のことで、もとは中央区天満橋付近、八軒家周辺の地名である。坐摩神社 45 はもともとその付近にあり、全国の「渡辺」姓の発祥の地といわれている。豊臣秀吉による大坂城築城の際に替え地を命じられ、渡辺の地名と共に現在の地に移転した。1989年（平成元）の合区に伴い「渡辺町」は「久太郎町」に統合されたが、渡辺姓発祥の地として名称の保存が望まれたため、今も坐摩神社の住居表示「久太郎町4丁目渡辺3」にその名が残っている。

久太郎町の西端に位置する坐摩（いかすり）神社の境内は、かつて「渡辺町」という地名だった。

北久宝寺町通のお店紹介



三木楽器 開成館 41

北久宝寺町3丁目3-4

創業1825年（文政8）。新品・中古ピアノと楽譜の販売。子ども・大人の音楽教室生徒募集中。
10:00～19:00
水休



美松 42

北久宝寺町4丁目2-4

魚介や野菜など旬を味わえる洗練された日本料理店。ランチの瓢箪弁当は多彩な味を楽しむ。
11:30～14:30
17:30～23:30 (22:30 L.O.)
日休（祭日は営業）



モダンチャイニーズブッセルリー HALOW 43

北久宝寺町1丁目8-7 都シティ大阪本町1F

ホテル1階にある中国料理店。平日限定のランチセットはメインを黒酢豚丼など6種から選べる。
ランチ11:30～14:30
ディナー14:00～17:00
ディナー17:00～21:30(21:00 L.O.)



Ants' coffee company 44

北久宝寺町3-2-5 船場パーキング 1F

24時間熟成チーズケーキが話題のカフェ。ランチは大阪の有名店主たちに泣きついてつくってもらったというカレーが人気。
平日10:00～19:00
土日祝11:30～18:00

南久宝寺町通のお店紹介



日本紐釦貿易 45

本館：南久宝寺町1丁目9-7
別館：南久宝寺町2丁目2-7 イタリアビル1F
クラフトパーツなどあらゆる服飾・手芸用品が揃う。別館は輸入雑貨や生地・用品を扱う。
本館 9:00～17:00
別館 9:30～17:00



きしな屋 大阪せんば店 46

南久宝寺町1丁目9-8
ダイキビル1F
全国を訪ねて目利きした商品が並び、こだわり食品のお店。生産者と一緒に開発したオリジナル商品も。
11:00～18:30
日曜は17:00まで



お持ち帰り割烹 香千堂 47

南久宝寺町1丁目7-7
セントアミール南久宝寺1F
お手頃価格で職人のつくる手の込んだお料理を持ち帰りできる。お弁当4種とお惣菜を販売。
11:30～19:00(売り切れ次第終了)
土日祝休

博労町通のお店紹介



苔・なっこ 48

博労町3丁目2-6 東海ビル1F
日々の暮らしに癒しの空間づくりを提案する苔の専門店。手のひらサイズの鉢植えからホームビオトープまで幅広く取り扱う。
11:00～19:00



うな茂 49

博労町2丁目3-11
うなぎを気軽に食べられる専門店。うな丼とうきき、うさぎ、肝臓いがセットのうな茂定食がおすすめ。
月～金11:00～22:00
土11:00～21:00 日祝休



菓子工房yamao ガナッシュ船場 50

博労町1丁目7-11
富田林発のケーキ店によるチョコレートケーキ「ガナッシュ」の専門店。ギャラリースペース併設のカフェもあり。
12:00～19:00
日休

総領事館が集まる中船場

大阪府には、海外総領事館が多く設置されており、かつてより数は減ってきてはいるが、現在も府下に15カ国の総領事館がある。そのほとんどが都心の北区（アメリカ・イタリアなど4カ国）と中央区（8カ国）に集中していて、中央区8カ国のうち6カ国が船場内にある。北浜にオランダ、久太郎町にインド・タイ・大韓民国、博労町にイギリス・モンゴルと、特にこの久太郎町～博労町エリアに5カ国が集まっている。大韓民国は建替え中の一時移転中。インドは、繊維のまち船場とは綿花の輸入で縁が深かった名残か。それぞれなぜその場所に設置されたのが伺ってみると、船場との興味深い物語が見えてくるかもしれない。



入口が印象的なバンコック銀行ビルに入居するタイ王国大使館総領事館
久太郎町1丁目9-16
バンコック銀行ビル4F 51



モンゴル国旗が目印の在大阪モンゴル国総領事館
博労町1丁目4-10
博労町エーステートビル3F 301、303 52

順慶町通

じゅんけいまちどおり

名称由来 戦国大名・筒井順慶がこの地に屋敷を設けたことから

江戸時代には隣町「新町廓」へ続く華やかな通りで、西は新町橋から東の堺筋あたりまで毎日夜店で賑わった。『摂津名所図会』に「夕暮れより万燈でらし種々の品を飾て……両側尺地もなく連り」とある。賑わいはやがて心斎橋筋や道頓堀へと続き、心斎橋商店街や芝居小屋の隆盛につながった。今は昭和レトロビルのコンバージョンでクラフトデザインの小店などが集まる。



旧川崎貯蓄銀行大阪支店 53
南船場1丁目15-12
石張りの外壁、重厚な建築は、1931年(昭和6)旧川崎貯蓄銀行大阪支店として建てられた。



オーガニックビル 南船場4丁目7-21 54
赤い外壁から植栽が飛び出す奇抜なデザインのビルは通りのシンボル。

安堂寺橋通

あんどうじばしどおり

名称由来 昔この地にあったとされる「安曇寺」が訛ったもの

暗峠・奈良街道に通じる道で、江戸時代には安堂寺町、西樽屋町(通りの西端近く)と呼ばれていた。井池筋には関西最初の蘭学塾「糸漢堂」があり、多くの医者・学者を輩出した。一方、上方落語の舞台にもなっており、「東の旅」ではお伊勢参りのスタート地点が安堂寺橋という。「饅頭こわい」「五人裁き」などもこの辺りのお囃。現在は多くの同業組合会館が集積している。



南幼稚園と芦池小学校跡地 56
船場にある二つの市立幼稚園の一つが、隣の芦池小学校跡地の大きな空地と並ぶ。大きな楠木が目印。



大阪農林会館 南船場3丁目2-6 57
1930年(昭和5)の建築。元三菱商事大阪支店、現在はテナントビルとなっている。

塩町通

しおまちどおり

名称由来 塩屋という商家に由来するとの説があるが定かでない

明治時代前後から堺筋には砂糖問屋が多く立地し、1925年(大正14)に砂糖取引所がなぜか塩町にでき、砂糖で大いに賑わったといわれる。塩町は東横堀川から、三休橋筋まで。三休橋筋から西は車町、心斎橋筋から西は南勘四郎町と呼ばれていた。三休橋筋西方にはかつて芦間池(一名井池)という池があり、これが井池筋の由来となった。



御堂筋交差点 南船場3丁目
長堀交差点から北へ続く有名ブランド店が旧塩町通りの東入り口。



重厚な町家が残る 南船場3丁目
旧い木造建物が残る。酒屋・徳岡商店界わい。町家はフインレストラン「わいん家」に改装。

長堀通

ながほりどおり

名称由来 船場の南端、末吉橋通と長堀川の埋め立てで生まれた

かつて舟運で賑わいを見せた長堀川の北側が末吉橋通と呼ばれ、1908年(明治41)に市電東西線が敷設された。南側には道路はなく鰻谷の建物が川に面していた。川は1964年(昭和39)に埋め立てられ、幅員50mの幹線道路となり、地下にはクリスタ長堀(ファッションストリート)と地下鉄(長堀鶴見緑地線)、駐車場が整備され、大阪市の「シンボルロード」に指定された。



並んだブランドショップ街
長堀通からスタートし御堂筋に広がった活性化のまちづくりは世界の有名店の景観を生んだ。



復元された心斎橋 60
長堀川に架かった橋は姿を消したが、石造の橋は地下鉄工事に伴う地上整備で、長堀通の中央分離帯に蘇った。

鉄骨トラス橋の「心斎橋」

心斎橋は船場と道頓堀のまちを結ぶ橋だった。1873年(明治6)に架けられた鉄骨トラス橋は、1909年(明治42)石造眼鏡橋に。1964年(昭和39)の埋め立て時に撤去され、2年後に陸橋として復元改造。1997年(平成9)まで親しまれた。長堀の浜は、舟運により石・木材などの建材が運ばれ、石製品が多く生産されたとクリスタ長堀の顕彰額にある。



弓状トラス橋時代の心斎橋(清水ゆう子氏所蔵)



クリスタ長堀の顕彰額 61

順慶町通のお店紹介



鶏Soba・座銀 にぼし店 51
南船場3丁目9-6
行列のできる煮干し吟醸ラーメンの人気店。
11:00~22:30
無休



渡邊カレー 52
南船場3丁目8-11
元村ビル202
看板メニューはオリジナルスパイスのトンかつカレー。
11:30~14:30
18:00~21:00
土祝11:30~16:00 日休



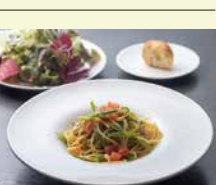
小倉屋山本店 53
南船場4丁目10-26
創業1848年(嘉永元)の御昆布司。伝統の逸品である塩吹き昆布「えびすめ」はおすすめ。
10:00~17:30
土日祝休



油かけ地藏 58
南船場1丁目
悪徳・防火退散を願い、油をかけて拝まれたので油まみれで真っ黒。地藏盆は賑わった。
大阪大空襲にも焼け残った。



apartment #03 54
南船場3丁目6-1
サイプレス心斎橋503
スタイリストが撮影に使用した洋服雑貨などを販売する人気店。
11:00~20:00
土曜は~18:00 日祝休



HAKU イタリア料理 55
南船場3丁目11-27
日宝シルバービル1F
和の伝統調味料を巧みに使いイケメンオーナーがつくるイタリアン。
月水金11:30~14:00(L.O.)
月~土18:00~21:00(L.O.)
日祝休

塩町通のお店紹介



The public kitchen 56
南船場4丁目11-8
1階はハンモックが座席のカフェ。有機栽培野菜のメニューが人気。
11:30~22:00



ムーンカロン 57
南船場3丁目5-25
韓国マカロンの大阪1号店。インスタ映えるかわいいマカロン。
12:00~19:00
日祝11:00~18:00
月本休

長堀通のお店紹介



カドヤ食堂 58
南船場2丁目(クリスタ長堀)
ポーク&チキンの中華そばの店。西区にあるカドヤ食堂の姉妹店。
11:00~20:00 無休



インデアンカレー 59
南船場2丁目(クリスタ長堀)
最初は甘く、後から辛さが押し寄せる、クセになる味のカレー専門店。
11:00~20:00 不定休

船場ランチでいただきます〜す！

「今日も元気に いただきます〜す！」をキャッチフレーズに、情報誌『船場ランチ』が南船場界隈のランチを紹介している。編集者の横井哲也さんは船場に雑誌編集企画の事務所を構えて16年。美味しいもん趣味が高じてランチ本を出版。新春に第3号が出た。問い合わせは下記まで。

編集 横井哲也さん
Tel.06-6253-8580



代表 横井哲也さん



SOHO賃貸住宅 59
URが、南船場界隈で活躍するクリエイタのためのオフィス付住宅を提供している。通り抜けを意図した安藤忠雄氏の設計で、街並みのアクセントとなっている。
UR都市機構 南船場南船場2丁目6-12



CFlat 61

南船場3丁目10-28(順慶町通)
※5月に南船場1丁目8-7(安堂寺橋通)に移転予定
フリースペースCフラットは、語学とお稽古のコミュニティスペース。中央区まじゅう図書館「まちなかライブラリー」でもある。子ども連れの若い女性や外国人の声が終日絶えない。代表は永野馨子さん。

12:00~21:00 火~土
12:00~17:00 日祝
Tel.06-6241-0246



代表 永野馨子さん

船場の筋

(南北方向の道)

船場の筋は、中央大通以北は13以南は14ある。

途中で筋の数が変わるのは、本町橋の南「本町まがり」と呼ばれる場所で、東横堀川が東に膨らんでいることによる。東横堀川の開削の時、この地にお寺がありこれを選けたからといわれている。

筋は脇道であり、町名(住居表示)にはない。古地図には、当時いい伝えられた名称が残っているが、現在は地図に載ることは少なく、次第に忘れられようとしている。しかし、気づく人は少ないが、筋に立つ古い電柱に、当時の呼称が小さく記されている。また、近年リニューアルされた船場を東西に貫く船場センタービルには、建物を貫く筋の名称が、壁に刻まれている。

筋の名称は、南北の川に架かる橋や、沿道の社寺、職業や商いに因むものが多い。

長堀川は1964年(昭和39)埋め立てられ長堀通となり、橋はない。しかし、現在でも船場に暮らすまちの人々は、橋の名がつく筋の名称に愛着があるようだ。江戸時代からの名称は現在

の暮らしに語り継がれている。



センタービルの壁に書かれている筋の名称



電柱に書かれている筋の名称

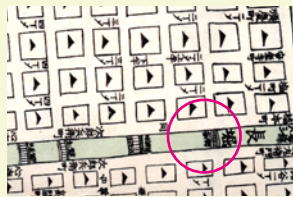
板屋橋筋

いたやばしすじ

名称由来

長堀川にかつて架かっていた橋に由来する

北の方では「一丁目筋」と呼ばれる。南の方では長堀川に架かっていた橋にちなんで「板屋橋筋」と呼ばれていた。この橋は元禄の頃は「新橋」といわれ、幕末の頃から「板屋橋」といわれた。古くは、北浜から本町までは刀脇指などの武具などのはがね屋が多く、本町通より長堀川までは古くは道具屋が多く「たがね町筋」といわれた。



古地図の新橋

八百屋町筋

やおやまちすじ

名称由来

由来は不明

堺筋の一つ東の筋。備後町通から安土町通の間で鳥屋が多くあったように「鳥屋町筋」とも呼ばれ、安土町のこのあたりは、上魚屋町と呼ばれていた。また今橋通では、両替商の本店である平野屋五兵衛と天王寺屋五兵衛が筋を挟んで並んでいたことから、「十兵衛横町(よこまち)」とも呼ばれた。さまざまな名前をもつ筋である。



摂津名所図会「八百屋町飛禽(鳥)店」

東から

東横堀筋

ひがしよこほりすじ

名称由来

東横堀川に沿った道筋だから

1585年(天正13)に秀吉が大坂城の外堀として掘った東横堀川に沿った筋である。「東横堀筋」「東堀筋」と呼ばれるが、かつては「道修町の浜」「高麗橋の浜」など西側の通り(まち)の浜(荷上げ場)の名称で呼ばれた浜通りである。現在は今橋から本町橋までの東横堀川西側の川沿いは公園となっており、初夏はイベントで賑わう。



水辺のイベント風景

箒屋町筋

ほうきやまちすじ

名称由来

筋の起点となるところのかつての商いに由来する

かつて本町通から久宝寺町の間にしゅる箒屋があったことからこの名で呼ばれた。久宝寺町から長堀川までは櫛引職人が多かった。本町通以南にしかない筋で、東横堀川が本町通以南で東側に膨らんでいる「本町まがり」から生まれた筋である。まがりが急流をうみ、事故も多かったようで、地蔵尊が祀られたといわれている。



曲り測地蔵尊 40

【船場の筋】

堺筋

さかいすじ

名称由来

堺に通じる街道だったから

高麗橋を起点に大名行列も通った紀州街道。堺へ抜ける道であったことから「堺筋」と呼ばれる。1912年(明治45)に市電堺筋線の敷設により道路は拡幅され、街路樹も整備され、金融機関や百貨店が建ち並び大阪随一の近代的街路となった。大大阪時代を象徴するメインストリートであった。



大大阪時代の堺筋

難波橋筋

なにわばしすじ

名称由来

北の起点にかつて難波橋があったから

かつて、この筋に難波橋が架かっていたことから、この名がある。中国街道に接続する往来の多い道路で、隣の堺筋と共に繁栄していた。しかし堺筋に市電が敷設されたことにより、難波橋は1915年(大正4)に堺筋に架け替えられた。南の方では、1908年(明治41)に市電東西線の敷設時に長堀川に架橋された藤中橋にちなみ「藤中橋筋」と呼ばれる。



堺筋に架かる難波橋の北詰から船場を望む。右手奥に見えるのは古い難波橋

中橋筋

なかばしすじ

名称由来

長堀川にかつて架かっていた橋に由来する

中橋は江戸時代に長堀川に架かっていた橋で、長堀橋と心斎橋の間に架かっていたために中橋と呼ばれた。古くは、北の方では「大溝筋」と呼ばれたとあるが、時代が下がるにつれ、「中橋筋」の名称が定着した。久太郎町から長堀川までは漆職人町があった。長堀通の中央分離帯に中橋の親柱が残る。



中橋の親柱 62

三休橋筋

さんきゅうばしすじ

名称由来

長堀川にかつて架かっていた橋に由来する

御堂筋と堺筋の中間にある筋で、長堀川に架かる心斎橋、中橋、長堀橋の交通量を分担し、三つの橋を休ませるために三休橋と名づけられたといわれる。北の方では土佐堀川に架かる橋にちなんで「梅檀木橋筋(せんだんのきばしすじ)」と呼ばれる。中央大通以北は、歩道の拡幅や電線の地中化、ガス灯の設置などが進んで風情のある景観に変わった。



ガス灯のある三休橋筋

井池筋

どぶいけすじ

名称由来

沿道にかつて井池井と呼ばれる池があったから

南の塩町あたりにあった難波(なにわ)薬師の境内に大きな池があり、これを井池と呼んでいたことからこの名がついたとされる。かつては家具や小間物問屋が集まっていたが、戦後は繊維問屋街として発展した。井池繊維会館(元愛国貯蓄銀行)はその拠点の一つであった。



井池繊維会館(1949年ごろ) 43

【船場の筋】

御堂筋

みどうすじ

名称由来

両御堂の前にある道だから

淀屋橋から淡路町通までは「淀屋橋筋」と呼ばれ、それ以南の北御堂・南御堂のある区間が「御堂筋」と呼ばれていた。以前は幅6mほどだったが、1937年(昭和12)に44mに拡幅、沿道は銀杏並木と銀行や企業の支店が集中する大阪を代表するシンボルロードとなった。御堂筋の側道脇に一基の碑が建つ。そこは南御堂前の花屋仁右衛門の裏屋敷、芭蕉終焉の地である。



芭蕉終焉の地の碑 63

御霊筋

こりようすじ

名称由来

御霊神社の表にある道だから

御霊神社の表門の筋であることから北御堂から土佐堀通までは「御霊筋」と呼ばれ、南御堂から南は長堀川に架かっていた橋の名から「佐野屋橋筋」と呼ばれた。北御堂と南御堂の間の短い筋は「狐小路」と呼ばれた。



御霊神社 22

渡辺筋

わたなべすじ

名称由来

沿道の坐摩神社の地名が渡辺だったから

秀吉の大坂城下の整備に伴って、渡辺(八軒家浜の南)から坐摩(いかすり)神社が地名と一緒に移転し、神社表門筋は「渡辺筋」や「坐摩(ざま)はんの筋」「坐摩の前」と呼ばれてきた。古くは「坐摩前故衣舗」と呼ばれる古着商で賑わっていた。北の方ではかつて魚の店(たな)が集まっていたところから「魚(うお)の棚筋」とも呼ばれ、住んでいる人によって呼び方が違う。



坐摩神社 45

心斎橋筋

しんさいばしすじ

名称由来

長堀川にかつて架かっていた橋に由来する

道頓堀から心斎橋を渡って、西区の新町(遊郭)を結ぶ道として、江戸時代から賑わってきた筋で、土佐堀通から道頓堀の戎橋まで「心斎橋筋」と呼ばれている。江戸時代は本屋が軒を並べ、本の出版元として栄えた。戦前は、時計塔がそびえる商店街として賑わい、現在はアーケードの下に心斎橋筋北商店街、せんば心斎橋筋商店街が続く。



戦前の心斎橋筋
久太郎町付近から北を望む

横堀筋

よこほりすじ

名称由来

明治に制定された町名に由来する

江戸時代は、堀川の開発者の名前から「七郎右衛門町」「浜町」「長浜町」など呼ばれ、水運を生かして西横堀川の東には材木商が、西側には陶器商が並んでいた。明治に入り、筋沿いに町名が横堀一丁目〜七丁目に改称され、筋は「横堀筋」と呼ばれる。1971年(昭和46)に西横堀川は埋め立てられる。その後、町名は各通りの4丁目になった。



高架道路下に残る橋柱(信濃橋) 64

西から



今日からあなたも

船場

SEMPA JIN

船場ガイドブック 2020 MAP

1 ... 64 P2~P12 船場の通りのこんな場所

1 ... 61 P2~P12 船場の通りの店

船場八区区域

船場まちの案内板

ホテル

公園・神社等

商店街



- ### 船場の近代建築
- 三井住友銀行大阪本店ビル
 - 石原ビルディング
 - 三共商事
 - 吉田理容所
 - 北浜レトロビルディング
 - 大阪倶楽部
 - 日本生命保険相互会社 本館
 - 大阪市立愛珠幼稚園
 - 適塾
 - 中村健法律事務所
 - 新井ビル
 - 今橋ビルディング (旧中央消防署今橋出張所)
 - オペラ・ドメス高麗橋 (旧大阪教育生命保険ビル)
 - 日本基督教団浪花教会
 - 高麗橋野村ビルディング
 - 三井住友銀行大阪中央支店
 - 高麗橋トキワビル
 - 銭高組分室 (旧小西平兵衛邸)
 - 芝川ビル
 - 伏見ビル
 - 青山ビル
 - 少彦名神社
 - コニシ株式会社 (旧小西儀助商店)
 - 大阪ガスビル
 - 北野家住宅
 - 武田道修町ビル
 - 小川香料
 - 生駒ビルディング
 - 三栄源エフエフアイ
 - 第一三共製薬別館
 - 清水猛商店
 - 興和淡心ビル (旧板谷齒科医院)
 - 船場ビルディング
 - 岸本瓦町邸
 - 綿業会館
 - ハウザー堺筋本町駅前ビル
 - 風蘭ビル (旧明治屋南本町ビル)
 - 井池織維会館
 - 三木楽器開成館
 - クツツ文具店
 - 堺筋倶楽部 (旧川崎貯蓄銀行大阪支店)
 - 大阪農林会館
 - 原田産業

協賛広告

船場ガイドブック2020に
協賛いただきましたお店と企業です。

広告に記載している休業日・営業時間などは
変更される可能性があります

創業1888年
池田商店紳士服部 本町店

創業133周年を迎えた老舗の技術を 生かし、最新のスタイ
リングのスーツをお求めやすい価格でご提供しております。
特別価格 国産生地使用仕上り 5万円～
舶来生地使用仕上り 7万円～

営業時間 月～金 10時～18時 土 10時～15時
日祝日・第2、第3土曜休 電話 06-6252-7758
住所 中央区久太郎町4-1-3
大阪センタービルB1 (旧伊藤忠ビルB1)

三木楽器株式会社

KAISEIKAN
開成館

1825年の創業以来、日本の音楽産業・音楽文化の発展を支えてまいりました。

ヤマハピアノはもちろん、ペーゼンドルファー
やパイカントオルガンなど、多数展示。
ピアノ関連楽譜も取り揃えております。

営業時間 10時～19時
毎週水曜日休
電話 06-6252-1820
住所 北久宝寺町3-3-4 国登録有形文化財



(株)シモジマ心斎橋店

文房具から包装紙、店舗用品、キャラクター
雑貨まで約70,000点の幅広い品揃えを誇
るお店です。
すべて卸価格ですが、どなたでもご利用いた
だけます。是非一度お立ち寄りください。

営業時間 10時～18時半
定休日 不定休
電話 06-6252-4361
住所 中央区北久宝寺町3-3-8



居酒屋&カフェ 門

創業から60年超。
昼はランチ夜は居酒屋、昼のチキン南蛮と夜の
石焼きカレーは絶品です。
船場の風景と言葉を描いた一筆箋も大人気。

営業時間 11時～14時 / 17時～23時
土曜は貸切予約のみ
日祝休
電話 06-6231-8509
住所 中央区道修町3-3-12



地域の皆さまとともに歩む信用金庫

Shoko 大阪商工信用金庫

〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目2番8号
本部 TEL. 06-6267-1636 (代表)
http://www.osaka-shoko.co.jp/



伊藤園 自然が好きです。

株式会社伊藤園 大阪中央支店
大阪市港区波除1-4-43 06-6585-6850

デザイン、アイデア、住まい方。
個性的な“家”の提案が、ここに 있습니다。

大阪ガス住設の家
oji.co.jp/house/



大阪ガス住宅設備株式会社
豊中モデルハウス
営業時間 10時～17時 定休日 / 火曜・水曜
電話 06-4865-9730
住所 豊中市北緑丘1丁目1-10

笑顔をもっと
増やしたい。



地域とともに あなたののために。

信頼で地域とつながる
Osaka City 大阪シティ信用金庫

本店 / 〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL. (06) 6201-2881 (代表)
http://www.osaka-city-shinkin.co.jp/

大阪府内に87店舗。大阪市内全24区に店舗を有する唯一の地域金融機関です。
令和3年2月1日現在

KAITEKI Value for Tomorrow
三賢クミカルホールディングスグループ

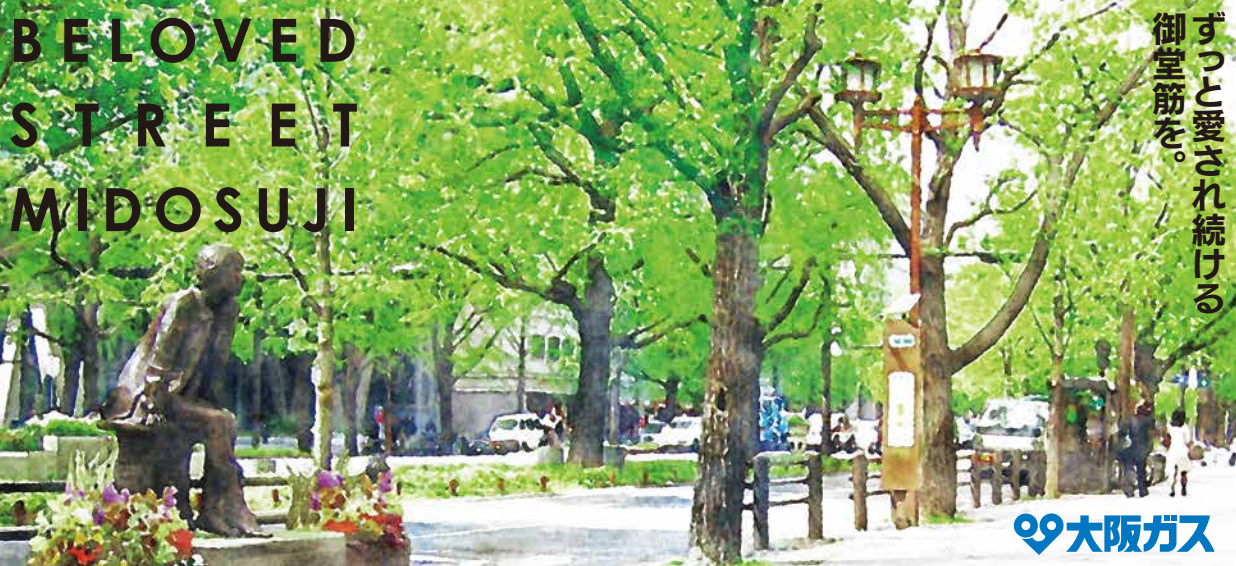
田辺三菱製薬

この手で、
未来を。
感じる 描く 動かす
創る 育てる 届ける
そして 抱きしめる
健康で長生きできる未来を
病とその不安を乗り越える未来を
理想のその先にある未来を
一人ひとりの手で
みんなの手で
希望を信じるこの手で



田辺三菱製薬のシンボルマークは手のひらをモチーフにしています。
www.mt-pharma.co.jp

BELOVED
STREET
MIDOSUJI



ずっと愛され続ける
御堂筋を。

大阪ガス

ガラス瓶の
歴史を感じ
未来を発見

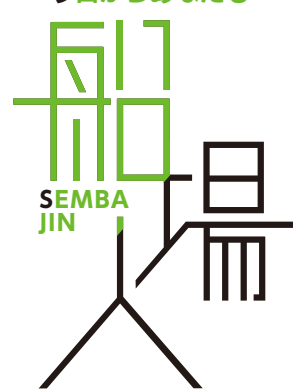
明治28年の創業以来
ガラスびんをひとすじに
作り続けてきた
日本精工硝子(株)が運営する
ショップ&ギャラリー。

大正時代の古民家を改装し
硝子コレクションの展示や
和室から地下防空壕跡を
のぞき込む珍しい体験も。



◆ Cute Glass Shop and Gallery
大阪市中央区伏見町2丁目4-4 TEL 06-6226-8360
OPEN 10:00～18:00 土日祝 定休

今日からあなたも



船場ガイドブック
2020

船場倶楽部の活動

「まちの案内板」の設置を契機として、「地域連合振興町会」「船場地区HOPEゾーン協議会」「船場げんきの会」が発起人となり、2015年9月11日に船場倶楽部が発足しました。その後、一つの組織に再編統合して、船場で活動する団体が一堂に会する現体制の「船場倶楽部」が2018年に誕生しました。

船場倶楽部は、地域連合振興町会、商業団体、神社・寺院、法人企業、そして地域まちづくり団体などの様々な人たちが参加して活動しています。船場のまちは、大阪の歴史的都心として、長く人びとの暮らしとビジネス、そして文化を育くみ、繁栄と衰退の歴史を経て現代に引き継がれてきました。しかし近年、人口減少、少子高齢化、さらに国際化が進む中で、都心にも新しい姿が求められています。そこで、私たちはその歴史・文化を引き継ぎ、未来に向けて人びとの暮らしやビジネス・文化を磨き魅力ある船場の姿を求めてまちづくりを進めています。

設立：2018年6月7日

会員：正会員（地域連合振興町会、商店街、まちづくり団体、法人企業）74名

賛助会員（法人、個人）58名（2021年1月現在）

船場倶楽部 事務局

〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目2-3 伏見ビル1F

info@sembaclub.com www.sembaclub.com



伏見ビル1Fに出来た
船場倶楽部事務局

「ワクワクする船場」の実現を目指して

2019年、概ね10年先の船場の将来像を募集する「船場2030～ワクワクする船場のこれから～」提案コンペを実施し、多数の応募をいただきました。現在、コンペの提案をもとに、公共空間を活用した社会実験など、将来像の可視化に取り組んでいます。



船場2030
提案コンペ



「高麗橋ストリートパーク」
社会実験



船場フォーラム2020

船場フォーラム

船場について語り合う場として2005年から毎年開催しています。2020年は4つの会場をオンラインでつなぐ小規模分散型で開催しました。

船場アーカイブス 船場の写真・地図など募集中

写真や地図などの、船場に残る「昔の記憶」を収集・保存、公開しています。



船場アーカイブス

船場まつり

船場の商店街、神社・寺院、連合振興町会を中心に2009年から毎年10月に開催しています。2020年はコロナ禍で中止となりました。



船場まつり

船場博覧会

2006年に町会と大学の連携が始まった「船場建築祭」が地域と活動団体の参加に広がり、毎年春と秋に開催しています。

船場ガイドブック

2012年から毎年秋に発行し、イベント会場や船場の飲食店などで配布しています。



2012年 第1号
「船場アミュージアム」



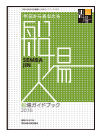
2013年 第2号
「船場今昔」



2014年 第3号
「船場のここ10年」



2015年 第4号
「船場に息づく芸能・文学」



2016年 第5号
「船場の会館」



2017年 第6号
「船場の緑」



2018年 第7号
「船場の不思議」



2019年 第8号
「船場八区」



船場博覧会2020



春の船場博覧会2021

「ようこそ船場へ」案内板事業

2015年から大阪市や民間企業と協力して、歩道や公開空地、ビルの壁面などに「まちの案内板」を設置する活動を進めています。現在、大阪市設置が4基、地権者並びに船場倶楽部で設置いたしました案内板が13基、合計17基が完成しています。（2021年2月現在）



淀屋橋スクエア



御堂ビル

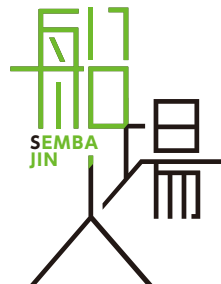
船場ナビ 船場の情報をまとめて発信する「船場ナビ」

イベント情報や日常風景をウェブ・SNSで発信。
まち歩きで使えるGPSイラストマップも公開中

船場ナビ

検索

今日からあなたも



船場ガイドブック 2020

制作：

船場倶楽部
集英地域活動協議会

編集会議：

川崎みほ子、河村岳志、
谷口康彦、千葉桂司、塚村真美、
日比哲夫、三谷直子、米田佳代

デザイン：河村岳志



船場倶楽部
SEMBA CLUB

この船場ガイドブック2020の制作にあたり
船場倶楽部が
公益財団法人 東教育財団の地域文化事業助成
集英地域活動協議会が
大阪市中央区地域振興活動補助金を受けています。